



多くの人々とのかわりこそが大切な教育の場
校長 中村 英次

暦の上では春となり、学校の梅の木もピンク色のきれいな花を付けています。少しずつ暖くなる日も増えてきているようです。

さて先日の登校時のことですが、6年生の男子が歩道に落ちていた空き缶を自ら拾っている姿を見かけました。とてもさりげない行動でしたが、その姿に、大変感心するとともに、私の心まで温かい気持ちになりました。

心が温かくなるお話をもう一つします。通山校区にご在住で、ご退職後、27年という大変長い間、志布志市のスクールガードとして取り組まれ、本校の子どもたちの登下校も見守ってくださった方が、2月2日の見守りを最後に、引退をされることになりました。このことを子どもたちに伝えると、その日の下校時に、6年生の数人のグループが「今まで、ありがとうございました。」と感謝の言葉を伝えにいたり、学級の友達と一緒にお手紙を書いて渡したりする姿など、たくさんの心温まる姿があったようです。

このように、正しいことを当たり前のようにできることや、人の気持ちや支援に対して、感謝の心を持ち、素直にきちんと伝えることができることは、とても素晴らしいことです。

話は少し変わりますが、今、報道等で「飲食店での迷惑行為」が多く取り上げられ、社会問題にもなっています。やってはいけないことを、やろうとする発想自体があり得ない、また、その行為を動画で撮影しながら一緒になって笑っている友人たち、自分たちがやっていることの意味や重さにも気付くことができない姿に大変残念な思いでニュースをみることです。

このようなことが起こってしまう原因に、SNSを通じた誤った承認欲求や道徳性の欠如など、様々な問題があると思いますが、その要因の一つとして、社会全体での人と人との関わりが希薄になってきていることも挙げられるのではないかと考えています。

ルールや決まりを守る態度、相手を意識した考えや行動などは、人と人とのつながりの中で、経験し、学びながら身につけていくべきものです。子どもが成長していく場は、暮らす家庭、学ぶ学校、それに、ともに住む地域のいろいろ

な人とのかわりが相互に関連し合っつづられています。

「家の外」には、いろんな考え方、立場があり、独りよがりでは暮らせないことも、子どもながらに知り、学んでいきます。そして、親以外の大人からも、社会のルールや決まりを教えられ、子どもたちは学んでいきます。

このような関わりが少なくなっている今、子どもたちは限られた集団の中だけで過ごし、今回の迷惑行為のような「自分たちさえ良ければいい。楽しければいい。」という、利己的な考えも増えてきているのかもしれない。

子どもたちがたくさんの人々と関わりをもって過ごし、そしてその中で、子どもたちの学習素材である私たち大人が、善悪や規範意識、他者意識など、しっかりと示し、伝え教えていけるようにしていきたいものです。

冒頭で述べた本校の子どもたちの素晴らしさがさらに膨らみ豊かに成長できるように、家庭・学校(P.T.A)・地域など、みんなで手を取り合い、ともに、子どもたちを育てていければと思います。

☆てらすフェスタでキラリ輝く 通山っ子☆

2月10日(金)学習の成果の発表会「てらすくんフェスタ」を行いました。

1校時の1年生から6校時の6年生まで、各学年1時間ずつを割り当て、内容に沿って、体育館や教室、多目的室を使って発表しました。

1・2年が朗読の発表や縄跳び、3年生が親子でのふれあい活動、4年は半成人式、5年は宿泊学習の活動発表、6年生は小学校生活の学習のまとめを劇で表す・・・と、学年の特色溢れる発表となりました。

当日は、幼児まで含めると162名と、多くの参観者があり、子どもたちも張り切って発表したり活動したりすることができました。



【1年 縄跳び】



【2年 朗読・縄跳び】



【3年親子ふれあい】



【4年半成人式】



【5年宿泊学習発表】



【6年小学校学習の振り返り劇】

★今年も苺の贈呈がありました★

JAあおぞら様から、毎年卒業する有明地区の6年生の子どもたちに苺をいただいています。

今年も2月6日(月)に2名の方が来校し、有明町の苺について教えてくださいました。有明町の苺は、10.7haで、県内生産量1位であること、年間販売金額は5億円であることなど、子どもたちは興味を持って聞くことができました。最後には、一人一人に1パックずつの苺をもらって大喜びでした。



☆お茶について学んだよ☆

2月16日(木)5校時、5年生がお茶のふれあい教室を行いました。曾於地区茶業青年同志会(若葉会)から3名の方が来てくださり、曾於地区の茶業について学んだりお茶の美味しい入れ方を教えていただいたりしました。

急須も1人に1個ずついただきましたので、家庭でも進んで実践し、お茶の文化を広められるといいです。



★新1年生1日入学 入学説明会★

1月26日(木)新1年生1日入学及び入学説明会を実施しました。来年度の新1年生は男子8名、女子9名、計17名の予定です。新1年生は、多目的室で、5年生のお兄ちゃんお姉ちゃんたちと交流し、保護者はパソコン室で入学説明会を行いました。元気で活発に活動する新1年生は、4月を待ち切れないようでした。来春の入学を児童・職員一同楽しみにしているところです。

☆ワシントンヤシ 今までありがとう☆

永い間、通山小のシンボルツリーとして駐車場側の国道添いに7本のワシントンヤシが立っていたのですが、高くなりすぎたことから倒木の恐れがあること、また風の強い日や台風時に大きな葉が落ち、車を傷付けることなどから、地域や関係各位の承諾を得て2月18日に、伐採いたしました。これまで通山の子どもたちを見守り続けた7本の木に感謝しつつ、労いの気持ちをもってお別れすることでした。



3月の目標



- 生活目標 最後までしっかりやり遂げよう
- 保健目標 耳を大切に健康生活の反省をしよう
- 安全目標 交通のきまりを守ろう

～3月の行事予定～

2日(木)	学級PTA 学校保健委員会 家庭教育学級
3日(金)	6年生を送る会 お別れ遠足
5日(日)	第3回PTA美化作業
8日(水)	委員会活動(反省・編成)
9日(木)	卒業式全体練習(1)
11日(土)	土曜授業日 PTA親子読書の日
13日(月)	清掃指導強調週間(～18日)
15日(水)	卒業式予行練習
17日(金)	がんがらちゃん号巡回日 卒業式全体練習(2)
20日(月)	大掃除
21日(火)	国民の祝日：春分の日
22日(水)	卒業式準備：会場づくり
23日(木)	第76回卒業式
24日(金)	修了式 離任式
25日～4/5	春休み

突然ですが・・・給食クイズ！

学校給食の歴史や食と栄養に関心を持つとともに、給食センターや生産者の方々など給食に携わる人々に感謝して食べようとする態度を育てることを目的に、1月23日（月）～27日（金）の期間で、学校給食週間を実施しました。

この週間に、各学級での取組の他、分担してお礼の手紙を書いたり、給食委員会で給食集会を行ったりしました。

今回の給食集会は、コロナ禍ということから放送とパワーポイントを使って、給食に関するクイズを出してくれました。なかなか考えさせるよい出題でしたので、学校日より裏面を使って紹介します。

読まれている皆様も、頭の体操にどうぞ！！（※ 解答は右側にあります。）



「今日は、みんなが食べる給食についてクイズにしてみました。一緒に考えていきましょう。」

「先週の全校朝会で校長先生の話をしっかり聞いていた人は簡単かもしれませんよ。」

「では、第1問
一番最初に給食を始めたのは鹿児島県である。
○か×か。」

「次、第2問
戦争が終わって再び始まった給食は、「ごはん、ミルク、おかず」だった。○か×か。」

「それでは第3問
あげパンが作られるようになったのは、安くておなかがいっぱいになるからである。○か×か。」



「第4問
シチューには「ビーフシチュー」「クリームシチュー」とあるが、日本で生まれたのはビーフシチューである。○か×か。」

「第5問 デザートで人気のフルーツポンチだが、フルーツポンチの「ポンチ」とは、元々お酒という意味である。○か×か。」



「第6問
日本全国の小・中学校で、給食を一日だけラーメンにする計画があった。○か×か。」